

その土地の個性とらしさをデザイン目線で案内するガイドブック最新刊『d design travel 富山 2』11/19(金)全国発売
東京・渋谷ヒカリエや、富山県内、オンラインでも。見て・買って・食べて・笑って…"富山らしさ"を体験できる企画が盛りだくさん!

D&DEPARTMENT PROJECT (商号:ディアンドデパートメント株式会社) が制作する「ロングライフデザイン(その土地に長く続く個性)」を編集テーマに据えた、47都道府県の観光を都道府県ごとに特集するトラベルガイドブックシリーズ『d design travel (ディデザイントラベル)』の「富山号2」が、2021年11月19日(金) 全国発売となります。「富山号」は2013年10月にシリーズ11号目として刊行。今回は8年を経て進化している今の富山を改めて取材、編集し「富山号2」として新たに制作しました。発売に合わせ、展覧会や編集部によるトークショー、郷土食を味わう企画や落語会など、本書を立体的に楽しめる連動企画を東京の渋谷ヒカリエや富山県内、オンラインでも開催します。様々な体験を通して、富山県の個性を伝えていきます。



『d design travel 富山 2』のつくり方、たのしみ方

1、地元住民や、旅・デザイン好きの一般参加型による編集スタイル

今年5月、公募で集まった参加者約40名で「富山らしさ」をディスカッション。取材候補地を挙げる公開編集会議で制作をキックオフしました。その後もSNSやYouTubeで制作過程をシェアしながら、県内外からリアルタイムで情報を寄せていただきました。

2、まずはいち旅人として体験する、覆面取材

5月下旬から約2ヶ月間、編集長が現地に住み込んで200箇所以上を訪れ、暮らすように県内を巡り、実際に体験し感動したものだけを選定。選定後に初めて取材申し込みを行いました。

3、“体験してこそ”の富山号2

東京・渋谷ヒカリエ「d47」や富山県民会館にあるD&DEPARTMENT TOYAMA、オンラインなどで、展覧会やトークショー、落語会など、本書だけに留まらない様々な企画を展開します。



山も海も人も仏も、すべてが繋がる富山の絆。

立山開山伝説に始まり、ダムや砂防と脈々と続いてきた自然との共生。日本海最大の内海が産む、固有の生物たち。料理もアートも念仏も伝統産業も、それら全ては、互いに讃え合い、繋がり、交わり、進化し、富山の個性を、さらに濃くしていく。感謝し合う人々の心がデザインの力となり、今も、富山の文化を育んでいる。

表紙『祭巴の柵』棟方志功

民藝の根づく地域性からも見られるように、感謝し合う人々の心がデザインの力となり、富山県は独自の文化を育んでいました。福光に疎開していた間、「他力の国に留学した」という、棟方志功が感じたものとは、間違いなく、今でも富山県の「らしさ」なのでしょう。この絵は、彼が富山滞在中に制作した『鐘溪頌』24作品のうちの一つ。棟方自身も芸術の方向性を示されたように、この“国”には、きっと、見えない力が宿っています。

『d design travel』編集長 神藤秀人

『d design travel 富山 2』概要

- 定価 2,900円+税 / ● 出版元 D&DEPARTMENT PROJECT
- 発売日 2021年11月19日(金)
D&DEPARTMENT webサイトで予約受付中。10/22(金)よりd47及びD&DEPARTMENT各店ほかにて順次先行発売。
- 様式 B5変形判、192ページ、フルカラー、日英併記
- 販売場所 全国の書店・ライフスタイルショップ・ミュージアムショップ・Amazon・D&DEPARTMENT各店
- 表紙 『祭巴の柵』棟方志功 (1903年-1975年)

富山号2特集webサイト：www.d-department.com/item/D_DESIGN_TRAVEL_TOYAMA2.html
メディア関係者様向け提供画像ダウンロード：bit.ly/3IVIVAN

—本件に関するお問い合わせ—

D&DEPARTMENT PROJECT 広報 清水 03-6427-2301 / pr@d-department.jp / www.d-department.com

● d design travel 編集、7つの考え方

1. 必ず自費でまず利用すること。実際に泊まり、食事し、買って、確かめること。
2. 感動しないものは取り上げないこと。本音で、自分の言葉で書くこと。
3. 問題があっても、素晴らしければ、問題を指摘しながら薦めること。
4. 取材相手の原稿チェックは、事実確認だけにとどめること。
5. ロングライフデザインの視点で、長く続くものだけを取り上げること。
6. 写真撮影は特殊レンズを使って誇張しない。ありのままを撮ること。
7. 取り上げた場所や人とは、発刊後も継続的に交流を持つこと。

● 取材対象選定、5つの考え方

1. その土地らしいこと。 2. その土地の大切なメッセージを伝えていること。
3. その土地の人がやっていること。 4. 価格が手頃であること。 5. デザインの工夫があること。

● 主な内容：dマークレビュー

『d design travel』最大の見どころ。観光、レストラン、買い物、カフェ、宿、人、の6つのカテゴリーごとに最大4箇所ずつ厳選し、その土地を代表する、ロングライフなスポットや取り組みを掲載しています。



※中面ページ例：dマークレビュー(画像は愛媛号より)



その土地らしさを感じる観光スポットで、メッセージ性があり、長く続いている場所。

観光

- ・富山県美術館（富山市）
- ・光徳寺（南砺市）
- ・SCOT（Suzuki Company of Toga）（南砺市）
- ・富山地方鉄道 アルプスエクスプレス



伝えたいメッセージを持つオーナーによる、その土地らしいカフェやバー。

カフェ

- ・KOBO Brew Pub（富山市）
- ・BRIDGE BAR（射水市）
- ・DOBU6（富山市）
- ・ハナミズキノヘヤ（富山市）



地域の食材を使い、地元の人がやっていて、美味しいだけでなく、デザインを感じる食事処。

レストラン

- ・茶寮 和香（高岡市）
- ・キッチン花水木（富山市）
- ・L'évo（南砺市）
- ・最勝寺 行鉢（富山市）



その土地らしさを体験できる建築やサービスによる宿泊施設で、価格も適正であるホテルや旅館。

宿

- ・Bed and Craft（南砺市）
- ・ホテルアクア黒部（黒部市）
- ・つりや東岩瀬（富山市）
- ・まれびとの家（南砺市）



地域の特性を活かしたお土産を購入できる店。

買い物

- ・若鶴酒造 三郎丸蒸留所（砺波市）
- ・林ショップ（富山市）
- ・Healthian-wood（立山町）
- ・流動研究所（富山市）



地域のキーパーソンで、文化創造や地域活性に繋がる活動を積極的に行っている人物。

人

- ・山川智嗣（Bed and Craft／コラリアルチザンジャパン）
- ・桐山登士樹（富山県総合デザインセンター）
- ・林口砂里（水と匠）
- ・鈴木忠志（SCOT）

● 特集例

・富山県のものづくりの話を聞く「伝統産業」とは何か？

400年前、加賀藩・前田利長から始まった高岡の銅器や漆器。そして、砂防やガラス、和紙や木彫、富山県が誇る産業の数々。では、今もそれは伝え継がれ、産業として成り立っているのか。あるいは、過去の栄光に終わってしまっていないか。果たして「伝統産業」の本当の意味とは何か？ 各地のものづくりの現場を訪ねました。

・富山県の“奇跡のようなまち”パッシブタウン

東日本大震災以降、東京の本社機能の一部を、黒部市へ移転を決めた企業「YKK」。そして、その頃から始まった、社員の“住まいづくり”。その拠点になっているのが、茅堂地区に誕生した「パッシブタウン」。独特の季節風「あいの風」などの自然エネルギーを利用した省エネの暮らしは、新しい“まちづくり”にも繋がっていました。

・富山県の文化誌「スピニー」

富山市を中心に日常の何気ない、でも、特別な場所やものを、そこに暮らす人の目線で紹介するリトルプレス「スピニー」。富山の魅力に「巻き込む」＝「スピンする」という思いから2017年に創刊し、年に1冊のペースで、これまで4冊を発刊。富山市以外にも、上市町や福光の特集号もあり、そんなS編集部を、d編集部が直撃。

● 連載

- ・深澤直人（プロダクトデザイナー）/ デザイナーのゆっくりを聞きたい 第47回「民藝とデザインが融合する」
- ・坂本大三郎（山伏）/ 47都道府県にあるロングライフな祭り 第19回、富山県「ネブタと虫」
- ・高木崇雄（工藝風向 店主）/ 47都道府県の“民藝” 第18回、富山県「心偈『南無阿弥陀仏 イトシヅカ』」

その他、編集部が見つけたその土地では当たり前となっている独特な習慣を紹介する「富山のふつう」や、「富山定食」開発から感じた県独自の食文化、滞在取材を経て見聞きし体験したその土地らしさを綴る「編集部日記」など、掲載地は51箇所。さまざまな切り口から“富山らしさ”を伝えます。

● 主な連動企画

各企画の詳細やオンラインで楽しめるコンテンツ、その他の企画については、随時webやSNSで発信していきます。

※新型コロナウイルス感染症の流行・行政の営業自粛要請などの状況に応じて、会期や内容は変更になる場合があります。

1. 本書を立体的に表現する展覧会「d design travel TOYAMA 2 EXHIBITION」

掲載地で実際に使用されている仕事道具や備品、装飾品などを展示し、現地の魅力を再現する展覧会です。東京・渋谷ヒカリエのd47 MUSEUMにて、2021年10月22日(金)～2022年1月31日(月)まで開催。詳細はプレスリリース最終頁をご覧ください。

2. 郷土の味をぎゅっと詰め込んだオリジナルメニュー「富山定食」が新登場。「富山を食べる会」の開催も。

d47食堂の料理人が富山県を旅して、名物や伝統料理を食べ歩き、生産者に取材して開発した定食が、期間限定で登場。定番ほたるいかの沖漬けから漁師飯「バイ飯」に、報恩講料理でもある「よごし」や「まるやま」。そして、昆布巻き蒲鉾をのせた「大門素麺」などが並びます。期間中には、富山ならではの食やお酒をコース仕立てで堪能できる「富山を食べる会」も開催予定です。

- ・提供期間 2021年10月15日(金)～2022年1月31日(月) 予定 ※仕入れ状況などにより期間や内容は変更する場合があります。
- ・価格 2,100円(税込) / 場所 d47食堂(渋谷ヒカリエ8F) / 電話 03-6427-2303

3. 「富山号2」制作の舞台裏を知る「d design travel show」

編集長が本書と連動企画にまつわる制作裏話を、取材時に撮りためた写真などを見せながら、富山の魅力はもちろん、本書や関連企画の楽しみ方を語り尽くすトークショーです。同日に「富山を食べる会」も併設のd47食堂で開催します。

- ・東京開催 2021年10月29日(金) 19:00～20:30 / 場所 COURT(渋谷ヒカリエ8F)

4. 「富山号2」の完成を県内の皆さんとお祝いする「d design travel show in TOYAMA」

旅と編集の舞台裏を振り返りながら、よそ者の視点で富山らしさをどのように見つけていったか、富山にしかない魅力を再発見しながら旅する楽しさなどをお話する、編集長によるトークイベント。店内には本書掲載商品を購入できるコーナーも登場します。

- ・富山開催 2021年10月31日(日) 17:00～19:00 / 場所 D&DEPARTMENT TOYAMA(富山市新総曲輪4-18 富山県民会館1F)

5. 富山県をテーマにした創作ご当地落語をおうちで堪能する「d47落語会 富山県 特別配信」

d47落語会は本シリーズと連動し47つのご当地落語を創作するプロジェクト。今回は、2013年の「富山号」発売時に開催した初演映像を特別にオンライン配信します。落語家・柳家花緑が、脚本家・藤井青銅書き下ろしの富山落語を、洋服で椅子に座り現代の言葉で演じる「同時代落語」のスタイルで披露。『d design travel』発行人のナガオカケンメイを聞き手に、2人が富山落語の誕生秘話を語るアフタートークと合わせて、富山の魅力を笑いを通して感じられる企画です。

- ・配信期間 2021年10月22日(金)～2022年1月31日(月) 期間中は何度でもご覧いただけます / ・価格 3,300円(税込)
- ・演目 古典落語1席、富山落語1席、アフタートーク(約120分) / ・出演者 柳家花緑、藤井青銅、ナガオカケンメイ
- ・d47落語会webサイト www.d-department.com/item/D47_RAKUGO.html / 問合せ：03-6427-2301(d47)
- ・富山落語「結魂丹(けっこんたん)」あらすじ

隅田川に身投げしようとする男を、浅草のバーのマスターが止めた。身投げの理由は失恋だと言う。そこでマスターは、自分の故郷・富山へ男を連れていく。その理由は…

● 『d design travel』とは

2009年創刊し、これまでに29都道府県を発刊。毎号、地域住民との公開編集会議を皮切りに、約2ヶ月間の現地取材を行います。各号の取材と、東京と特集県とで連動する企画を通して、47都道府県の独自の個性を改めて整理し発信することで、日本各地にあるその土地らしいクリエイションを見つめ直し、その価値を継承する意識を持つきっかけを与える、これまでのトラベルガイドには無い機能をもつ書籍として展開しています。

- 1.北海道、2.鹿児島、3.大阪、4.長野、5.静岡、6.栃木、7.山梨、8.東京、9.山口、10.沖縄、11.富山、12.佐賀、13.福岡、14.山形、15.大分、16.京都、17.滋賀、18.岐阜、19.愛知、20.奈良、21.埼玉、22.群馬、23.千葉、24.岩手、25.高知、26.香川、27.愛媛、28.岡山、29.茨城
- ※鹿児島と静岡は増補改定版を、東京は改訂版を、初版後それぞれ出版。vol.2の制作は富山が初となります。

『d design travel 富山 2』は、クラウドファンディングを実施しました。

このシリーズの本質は、単なる旅行ガイドではなく、旅を通して「地域で頑張っている企業やお店の姿を伝えていく」こと、そして「地域の“らしさ”や“個性”を守ろうと呼びかけていく」ことにあります。ただ資金を調達するだけの手段ではなく、ロングライフデザインを応援しようと同じ方向を目指す仲間とコミュニティをつくり繋いでいくことを目的として、本書の活動を必要としてください。詳しくは以下URLよりご覧ください。：readyfor.jp/projects/d-toyama

● D&DEPARTMENT PROJECT(ディアンドデパートメントプロジェクト)とは

2000年にデザイナーのナガオカケンメイによって創設された「ロングライフデザイン」をテーマとするストアスタイルの活動体。現在は国内外に11店舗(北海道、埼玉、東京、富山、三重、京都、鹿児島、沖縄、韓国・ソウル、韓国・済州、中国・黄山)を展開。47都道府県に1か所ずつ拠点をつくりながら、全国的な規模で「息の長いその土地らしいデザイン」の発掘と紹介をしている。2009年『d design travel』創刊、2012年渋谷ヒカリエ8階に日本初の47都道府県のデザイン物産ミュージアム「d47 MUSEUM」をオープン。併設の「d47 design travel store」「d47食堂」と連動し、立体的に日本を伝える新しいスタイルを創造。物販、飲食、出版、観光を通して47の日本の“らしさ”を見直す活動を展開している。

富山県の個性を「デザイン」と「旅」の視点から見る展覧会、渋谷ヒカリエd47 MUSEUMで開催



名称 d design travel TOYAMA 2 EXHIBITION
 会期 2021年10月22日(金)～2022年1月31日(月) 12:00～20:00 (入館は19:30まで) ※水曜休
 年未年始 2021/12/31は～18:00まで (入館は17:30まで)、2022/1/1は休館
 会場 d47 MUSEUM (ディ ヨンナナ ミュージアム) 東京都渋谷区渋谷2-21-1渋谷ヒカリエ8階
 入場料 ドネーション形式 (会場受付) / 主催 富山県・D&DEPARTMENT PROJECT
 電話 03-6427-2301 (d47 MUSEUM) / URL www.d47museum.com

d47 MUSEUMでは、2021年10月22日(金)から2022年1月31日(月)まで「d design travel TOYAMA 2 EXHIBITION」を開催します。デザイン目線で日本各地の長く続くその土地らしい個性を案内するトラベルガイドブック『d design travel 富山2』の2021年11月19日(金)全国発売を記念し、誌面だけでは収まりきれない現地の魅力を立体的に伝えます。

編集部が徹底取材した“その土地らしさ”を、現地で実際に使用されている仕事道具や備品、装飾品などを展示し再現します。例えば、棟方志功ゆかりの品々、高岡の伝統産業クラフト、井波の彫刻など、さまざまな展示を予定しています。誌面から飛び出したような数々の展示品の独自のデザインから、編集部が、歩き、見聞きし、食べた“富山の今”を感じ取って、その魅力を再発見し、実際に富山県を旅したくなるきっかけをつくります。

会場では全国発売に先駆け「富山号2」を先行販売します。先着で、本書には収まり切らなかった情報が満載の、編集長による手書きの「らくがきMAP」をプレゼント。また、編集部おすすめ富山の手土産が買える期間限定ストアが登場します。「桂樹舎」の八尾和紙のアイテムや、「KAKI CABINET MAKER」の椅子、「林ショップ」の土人形、「ヘルジアンウッド」のアロマオイルやスプレーといったプロダクトのほか、「季の実」の枳の木の器やクッキー、「幸のこわけ」シリーズ、「三郎丸蒸留所」のウイスキー、「koffe」のコーヒーなど、美味しい手土産も購入できます。

併設のd47食堂の新メニュー「富山定食」も合わせて、本を読み、展示を見て、商品を手にとり、郷土料理を食べ…と、富山の魅力を五感を通して感じられる企画です。

会期中には、編集部が取材や展示の舞台裏を語るトークショーや、富山の食が堪能できるイベント、富山をテーマにした新作落語を楽しむ「d47落語会 富山県」も、会場やオンラインで開催し、展示だけに留まらず、様々な角度から富山らしさを体験できる企画を展開していきます。詳細や最新情報は随時webやSNSで公開します。

「d47 MUSEUM」は、2012年4月26日、渋谷ヒカリエ8階に、日本初の“47都道府県デザイン物産ミュージアム”としてオープン。建築、デザイン、工芸、食、ファッション、農業、自然環境など、あらゆるジャンルからテーマを選び、オリジナルのキュレーションと編集で、世界に向けて“日本の今”を発信していきます。

<参考>

d design travel 編集部 YouTubeチャンネル www.youtube.com/channel/UC7Zcv-XZPkNahdHxpZ5PCgg/videos

例 富山号、現地取材の様子ダイジェスト Chapter.1 : youtu.be/b8_vLp2B3OU Chapter.2 : youtu.be/0WIS2vO15vM
 愛媛展の様子 (編集長の音声ガイダンス付き) youtu.be/lbwxknrw_HA

D&DEPARTMENT インスタグラム @d_department 編集長による本書と展示の見所を展覧会場から案内するインスタライブ (前回の茨城展)

① www.instagram.com/tv/CMUTg16B710/ ② www.instagram.com/tv/CMW3riyhiAz/ ③ www.instagram.com/tv/CMZc-3bhniC/

—本件に関するお問い合わせ—

D&DEPARTMENT PROJECT 広報 清水 Tel: 03-6427-2301 / pr@d-department.jp